

鼠径ヘルニアセンター開設のお知らせ

— メディカルトピアヘルニアセンター **3**つの特徴 —

1 小さな傷で痛みの少ない手術

2mm～5mmの内視鏡の器具を使う世界でも一番傷の小さな手術。傷が目立たなく、痛みが少なく、手術後の回復が早いため、すぐに運動や仕事をしたい方にも向いています。

2 内視鏡でしっかり診断と治療

お腹の内側からみて確実に診断と治療を行います。ご自身の手術中の写真を使って手術説明を行います。

3 専門医による治療

メディカルトピア草加病院の鼠径ヘルニアの手術は年間173件と日本全国でも10位以内のハイボリュームセンター。手術は日本内視鏡外科学会技術認定資格を持つ医師のもとで行われます。

メディカルトピアの
鼠径ヘルニアの手術件数

(2014年)
年間 **173** 件

病院情報局2014年
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術全国ランキングでは
全国で**5**位にあたる件数です。



手術後の傷



大きな画面でクリアにみながらの内視鏡手術

■ 鼠径ヘルニアの症状

- ☑ 足の付け根に痛みや不快感を感じる
- ☑ 足の付け根にやわらかい腫れを感じる
- ☑ 腫れは手でおさえると引っ込む



■ 鼠径ヘルニアセンター長



かねひら あや
金平(旧:亀井)文 医師

専門：消化器外科、鼠径ヘルニア

北海道大学医学部卒業。2005年より腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を行い年間150件以上を執刀。日本内視鏡外科学会技術認定医を鼠径ヘルニアの部門で取得。国内外で鼠径ヘルニアの手術に関する講演や技術指導にあたっている。

■ **メディア掲載** 「いい病院2014」「未来シアター」「週刊現代」など



■ 2014年度の主な活動(学会発表)

- 国外**
 - ・パリ：第14回世界内視鏡外科学会【LAPAROSCOPIC TRANSABDOMINAL PREPERITONEAL (TAPP) HERNIA REPAIR VIA MINIMAL PARIETAL WOUNDS (2MM,5MM,2MM)】
 - ・上海：26th International Conference of the Society for Medical Innovation and Technology 特別講演【Laparoscopic Transabdominal Preperitoneal (TAPP) Hernia Repair via Minimal Parietal Wounds】
- 国内**
 - ・第12回 日本ヘルニア学会【2mm,5mm,2mmで行う腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術】
 - ・日本外科学会生涯教育セミナー【TAPPをやさしくシンプルに行うためのもうひとつの視点】
 - ・腹腔鏡下ヘルニア修復術手術手技研究会【6. TAPP,TEP「メッシュ挿入以後」セッション 座長】
 - ・第27回 日本内視鏡外科学会総会【胃噴門部粘膜炎腫瘍に対する手縫いを駆使した単孔式胃内手術48例の手術成績】
 - ・3rd Reduced Port Surgery Forum 2014 in Fukui【最小創2mm,5mm,2mmで行う needle scopic TAPP】
 - ・第27回 日本内視鏡外科学会総会【最小創2mm,5mm,2mmで行う腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP-252)】

☎ ヘルニア外来予約

月曜日 14:00～17:15
土曜日 9:00～12:45

048-928-3112 ※お電話にてご予約下さい。
他の医師の外科外来でも診察できますのでお問合せ下さい。

MEDICAL TOPIA SOKA